

事 務 連 絡

令和4年4月18日

各都道府県建設業協会 事務局 御中

一般社団法人全国建設業協会

事 業 部

「仙台防災枠組 2015-2030 のグッドプラクティス」

の募集について（周知依頼）

平素は本会の活動に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年（2022年）は、我が国の主導により策定された世界的な防災の取組指針である国連「仙台防災枠組 2015-2030」の折り返し時期に当たります。このため、内閣府にて、関係団体・機関の協力を得て、様々なステークホルダーによる国民の防災意識の醸成・向上や防災・減災体制の強化に資する優良取組事例（グッドプラクティス）を収集し、国内外に発信することとしております。

この度、内閣府（防災担当）より「仙台防災枠組 2015-2030 のグッドプラクティス募集」を別添のとおり実施する旨、周知依頼がありました。

つきましては、貴会会員企業の皆様へ周知賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

以 上

（担当）事業部 山中

TEL 03-3551-9396

FAX 03-3555-3218

メール jigyo@zenken-net.or.jp

事務連絡  
令和4年4月12日

各指定公共機関 防災担当者 殿

内閣府政策統括官（防災担当）付  
参事官（普及啓発・連携担当）

### 「仙台防災枠組 2015-2030」グッドプラクティス募集について（協力依頼）

日頃より防災対策の推進にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年（2022年）は、我が国の主導により策定された世界的な防災の取組指針である国連「仙台防災枠組 2015-2030」の折り返し時期に当たります。このため、内閣府において、関係団体・機関のご協力を得て、様々なステークホルダーによる国民の防災意識の醸成・向上や防災・減災体制の強化に資する優良取組事例（グッドプラクティス）を収集し、国内外に発信することとしております。

このたび、「仙台防災枠組 2015-2030 のグッドプラクティス募集」を下記の通り実施いたしますので、貴団体におかれても、関係部局に幅広く周知し、積極的な応募をご検討いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 募集部門

- （1）「より良い復興」部門
- （2）一般部門

#### 2. 募集期間

令和4年（2022年）4月11日～5月31日

#### 3. 応募できる団体

民間企業、非営利組織、学術研究機関、地方自治体、その他の公的機関など  
（法人格を持つ団体であれば誰でも応募可能）

#### 4. 応募方法

別添のチラシをご覧ください

#### 【問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（普及啓発・連携担当）付  
電話（直通）：03-3502-6984 担当：山崎、上山（ウエヤマ）、甲（カブト）

「仙台防災枠組 2015-2030」グッドプラクティス

【部門1】「より良い復興」部門 応募様式

取組名	一行で収まるように簡潔に取組名を記載してください。
対象災害*1	対象災害を記載してください（例：東日本大震災（2011年））
応募者	応募者のカテゴリーを選択してください。 その他の場合：記載してください
	応募組織・団体名を記載してください。
連携先	連携して取り組んでいる団体がある場合、団体名を列挙してください。
実施年*2	20xx年～20xx年

\*1: 「より良い復興」部門には、2015年以降に開始した又は体制を本格整備した取組であれば、東日本大震災（2011年）や熊本地震（2014年）等、2015年以前の災害を対象とした取組も含まれます。

\*2: 2015年以降に開始又は体制を本格整備した取組が対象。現在も実施中の取組の場合は「○年～実施中」と記入してください。

（1）取組背景・経緯・目的

なぜその取組をはじめたのか、どのように「より良い復興」の推進に資するか

（2）取組内容

具体的な取組の実施内容を記載してください。

（3）取組の具体的な成果・効果（裨益者・裨益人数等）

国全体、被災地域又は被災地の特定のステークホルダーグループの中で具体的かつ顕著なインパクトをもたらしたことが分かるように、できるだけ定量的なデータも引用しながら具体的な成果を説明してください。

（4）取組の成功要因・汎用性等

取組の成功要因や他の団体・地域等に取組が広がるためのポイント等を記載してください。

応募担当者情報

組織名：	所属・役職：
名前：                   （フリガナ）	電話番号：
Email：	
その他：組織 URL 等記載ください。	

※作成要領

- ・ 選択してください：プルダウンで選択     ・ 記載してください：既入力部分を削除し、必要情報を入力
- ・ 必要に応じて、取組の概要が分かる資料を添付ください。     ・ 全体で2ページ以内に収まるよう記入ください。

「仙台防災枠組 2015-2030」グッドプラクティス

【部門2】一般部門 応募様式

取組名	一行で収まるように簡潔に取組名を記載してください。		
優先行動	優先行動を選択してください。		
その他 該当する場 合は☑	<input type="checkbox"/> 「多様なステークホルダーの役割」に資する取組 <input type="checkbox"/> 「国際協力とグローバル・パートナーシップの推進」に資する取組		
応募者	応募者のカテゴリーを選択してください。 その他の場合：記載してください		
	応募組織・団体名を記載してください		
連携先	連携して取り組んでいる団体がある場合、団体名を列挙してください。		
実施年*1	20xx年～20xx年	主な実施地域	アイテムを選択してください。

\*1: 2015年以降に開始又は体制を本格整備した取組が対象。現在も実施中の取組の場合は「〇年～実施中」と記入してください。

(1) 取組背景・経緯・目的

なぜその取組をはじめたのか、どのように優先行動と関係しているか等を記載してください。

(2) 取組内容

具体的な取組の実施内容を記載してください。

(3) 取組の具体的な成果・効果（裨益者・裨益人数等）

国全体、被災地域又は被災地の特定のステークホルダーグループの中で具体的かつ顕著なインパクトをもたらしたことが分かるように、できるだけ定量的なデータも引用しながら具体的な成果を説明してください。

(4) 取組の成功要因・汎用性等

取組の成功要因や他の団体等に取組が広がるためのポイント等を記載してください。

応募担当者情報

組織名：	所属・役職：
名前：                   (フリガナ)	電話番号：
Email：	
その他：組織 URL 等記載ください。	

※作成要領

- ・ 選択してください：プルダウンで選択     ・ 記載してください：既入力部分を削除し、必要情報を入力
- ・ 必要に応じて、取組の概要が分かる資料を添付ください。     ・ 全体で2ページ以内に収まるよう記入ください。

# Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015 - 2030

応募受付中

## 仙台防災枠組2015-2030の グッドプラクティスを募集します

仙台防災枠組2015-2030は、日本が招致し2015年3月に宮城県仙台市で開催された第3回国連防災世界会議で採択された、国際的な防災の取組指針です。

仙台防災枠組が15年間の推進期間の折り返し時期を迎えるに当たり、日本の防災・減災の取組を広く国際的に情報発信するため、**グッドプラクティス(優良取組事例)**を募集します。

民間企業、非営利組織、学術研究機関、地方公共団体など、国内外で防災・減災活動に取り組む**多様なステークホルダーからの応募を期待いたします。**

### 募集部門

- ①「より良い復興」部門 我が国が提唱し、仙台防災枠組に位置付けられた、「より良い復興」(Build Back Better)の推進に資する取組
- ②一般部門 仙台防災枠組の「4つの優先行動」等に資する取組

### 募集期間

2022年4月11日～5月31日

### 応募方法

裏面をご覧ください

主催:内閣府(防災担当)  
協力:防災推進国民会議、防災推進協議会、  
国連防災機関(UNDRR)駐日事務所

# 仙台防災枠組2015-2030 グッドプラクティス 募集要項

## 応募できる団体

民間企業、非営利組織、学術研究機関、地方自治体、その他の公的機関など（法人格を持つ団体であればどなたでも応募可能です。）

## 応募対象となる取組<sup>注1</sup>

### ①「より良い復興」部門

国内外の災害からの「より良い復興」(Build Back Better)（下記）の推進に資する取組<sup>注2</sup>

### ②一般部門

仙台防災枠組の「4つの優先行動」（下記。ただし優先行動4後段の「より良い復興」を除く。）及び「多様なステークホルダーの役割」、「国際協力とグローバル・パートナーシップの推進」に資する取組<sup>注3</sup>

## 応募した事例の取扱い

提出された取組事例は、内閣府において選考を行い、特に優れたものをグッドプラクティス集として取りまとめ、国連に提出します。<sup>注4</sup>

## 提出先・問合せ先

次のURL (<https://www.bousai.go.jp/kokusai/index.html>) 又は右のQRコードから応募様式（Word形式）を入手し、内閣府の専用アドレス [sendaigp@oriconsul.com](mailto:sendaigp@oriconsul.com) 宛にご提出ください。

お問合せは、上記アドレス又は電話03-3502-6983(直通)までお願いします。

応募様式QRコード



### 「より良い復興」 (Build Back Better)とは

災害後の復旧・復興過程に、

- 土地利用やハード整備の見直し
- 知識や教訓の共有
- 被災地の持続可能な開発等に取り組み、復興過程を通じた防災力の強化を図ること。

（詳しくは仙台防災枠組パラグラフ33(j)を参照ください。）

### 仙台防災枠組の「4つの優先行動」とは

#### 優先行動1：災害リスクの理解

関連データ収集・分析、災害リスク評価、防災教育、普及啓発等

#### 優先行動2：災害リスク管理のための災害リスクガバナンス

全てのセクターにわたる防災の主流化、防災戦略計画の策定等

#### 優先行動3：強靱化に向けた防災への投資

ハード・ソフト対策を通じた防災への官民投資、土地利用等

#### 優先行動4：効果的な応急対応に向けた準備の強化と「より良い復興」

災害予警報、事業継続、避難場所・食糧・資機材の確保、避難訓練、「より良い復興」

## 仙台防災枠組について詳しく知りたい方は

内閣府防災担当「第3回国連防災世界会議」のページをご覧ください。  
URL: <https://www.bousai.go.jp/kokusai/kaigi03/index.html>



注1: いずれの部門も、2015年以降に開始又は体制を本格整備した取組のうち、国全体、特定の地方又は特定のステークホルダーグループ（注3参照）の中で具体的かつ顕著なインパクトをもたらした取組が対象になります。単なる単発のイベントや他機関との連携体制構築等は対象になりません。また、インパクトを定量的にデータで示すことが望まれます。

注2: 「より良い復興」部門には、2015年以降に開始した又は体制を本格整備した取組であれば、東日本大震災（2011年）や熊本地震（2014年）等、2015年以前の災害を対象とした取組も含まれます。

注3: 仙台防災枠組では、多様なステークホルダーの役割及び国際協力・グローバルパートナーシップを奨励しています。ステークホルダーには、市民社会・ボランティア・コミュニティ団体、女性（ジェンダー）、子ども・若者、障害者、高齢者、学術界、経済界、メディア等が含まれます。

注4: 選考に当たっては、①仙台防災枠組との関連性、②取組がもたらしたインパクトの具体性と規模、③地域コミュニティや他のステークホルダーを巻き込むなどの包摂性、④取組の推進体制、等を考慮します。